



栄研

News Release

平成 23 年 9 月 16 日

各 位

会社名 栄研化学株式会社
代表者名 代表執行役社長 寺本 哲也
コード番号 4549 東証1部

栄研化学と FIND、アフリカ睡眠病の遺伝子迅速検査の 臨床試験をコンゴ、ウガンダで開始

栄研化学株式会社(本社：東京都台東区、以下 栄研化学)と FIND (Foundation for Innovative New Diagnostics、本部：ジュネーブ) は、9月15日、マリ共和国バマコで開催されている「第31回トリパノソーマ症研究・抑制国際科学会議(ISCTRC)」において、LAMP法を利用したアフリカ睡眠病(HAT)*の簡易な遺伝子迅速検査法の開発を完了し、コンゴ民主共和国とウガンダでの臨床試験を開始することを発表しました。

栄研化学と FIND は、LAMP 法を利用した結核の簡易・迅速な遺伝子検査法の共同開発を 2005 年から開始し、その技術を 2008 年からマラリア、HAT の診断法の開発に拡大してきました。

現在、HAT は血液または髄液中の寄生虫を顕微鏡検査で検出することで診断されており、高感度な検査法が緊急に求められていました。栄研化学は、途上国でも使用でき、血液採取から判定までを 1 時間以内に終了し、かつ最小限の機器を用いて実施可能な遺伝子迅速診断法として開発を進めてきましたが、この度、設計・開発を終了し、7 月から FIND に対して研究用試薬として発売を開始しました。FIND はこれを用いてコンゴ民主共和国とウガンダでの臨床試験を開始することになりました。

本試薬キットは、HATの早期発見、早期治療に寄与でき、HAT撲滅に貢献できるものと考えております。

以上

本件に関するお問い合わせ先

栄研化学株式会社 広報部

TEL:03(5846)3379 、 FAX:03(5846)3474 、 e-mail:koho@eiken.co.jp

ホームページ <http://www.eiken.co.jp>

【用語解説】

HAT (Human African Trypanosomiasis)

HAT は、ツェツェバエに刺されることによって感染する寄生虫疾患です。サハラ以南の 36 カ国で見られ、主に農業・漁業・牧畜・狩猟などを行っている遠隔地に発生し、年間 6,000 万人が感染の危険にさらされています。

症状として、初め（第 1 期）は発熱・頭痛・関節痛・リンパ腫脹が認められますが、症状に気付かない場合も多く、第 2 期では、原虫が血液脳関門を通過して、中枢神経系への障害が現れます。まず、神経痛が認められ、錯乱や躁鬱が現れ、次いで、睡眠周期が乱れて、昼夜が逆転します。そのうち、常に朦朧とした状態になり、さらには昏睡して死に至ります。治療を行わなければ、100%死に至り、第 2 期に治療したとしても不可逆的な神経障害が残ります。

現在、HAT の診断は、顕微鏡を使用して、スクリーニングテストで疑われた患者血液から、寄生虫を見つけ出す方法です。なお、第 1 期と第 2 期で取るべき治療法が異なるため、腰椎穿刺による髄液の検査が行なわれています。

第 2 期の治療法として、2009 年に新しい併用療法が認められ画期的に進歩しましたが、10 日間の入院を必要とし、受けられる場所も限られています。

途上国で使用できる簡易・高感度な検査法の開発が緊急の優先課題となっています。